

東日本大震災から1年間の名取市図書館の歩み

(敬称略)

年 月	主 な で き ごと
平成23年 3月11日(金) 午後2時46分	蔵書点検のため休館 地震発生 ・ 築53年の建物に甚大な被害 ・ 書架が傾倒し、約8割の本が落下 ・ 震災後、職員は避難所の管理業務や罹災証明の事務などに従事   
3月24日(木)	震災から約2週間後、北海道石狩市民図書館からの電話 「何かお手伝い出来ることはありませんか?」  名取市長へメッセージ  文化会館での読み聞かせ
4月12日(火)	石狩市民図書館の第1班4名が到着 ・ 石狩市長からのメッセージを名取市長へ ・ 避難所、図書館への物的・人的支援 
4月22日(金)	石狩市民図書館 第2班4名が到着、班交代 ・ 1・2班併せて3週間の支援
4月25日(月)	北海道北広島市図書館から2名到着 ・ 1週間の支援 市の災害ボランティアセンターからボランティアの派遣 ・ 屋外書庫や自動車図書館の本をすべて入れ替え、2階にある本は1階へ移動     北広島市図書館から2名の応援 
4月27日(水)	図書館用品メーカー「キハラ㈱」による書架補強や傾斜書架の解体などの支援 「キハラ㈱」より書架補強や解体の支援

5月10日（火）

「臨時開館」を開始
・火・木・土の週3日10時～14時



車庫内にカウンターを設置



ボランティアによるお手伝い

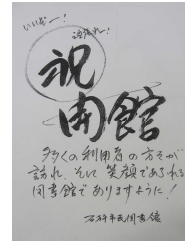


自動車図書館も利用して開館



書を臨時開架書庫として利用

石狩市民図書館より、お祝いのメッセージをいただく



心のこもった温かいメッセージ

開館後も図書館ボランティア、災害ボランティアによる支援



災害ボランティアによる支援



図書館ボランティアによるお手伝い



車庫で七夕飾り



水ヨーヨーすくい

9月28日（水）

「北海道岩見沢市立図書館」から移動図書館車「あおぞら号」の寄贈
・「日本図書館協会」から図書館車の斡旋等の支援



「あおぞら号」の寄贈



車内の様子

10月11日（火）

プレハブ図書館「南館」供用開始
・「財団法人図書館振興財団」からプレハブ20坪の支援
・開館日を週5日に変更
・カウンターを屋内へ



カウンターが屋内へ



「南館」開館初日



待ち望んだ閲覧環境スペース

11月5日・6日

「図書館絆まつり」名取市文化会館で開催（2日間で1,100人の来場）

- ・「在札幌米国領事館」、「石狩市民図書館」、「日本アニメーション協会」、「被災地の子どもたちに届けたい本@ウィキ」、「東京FM」、「女優 室井 滋」等、多くの方々による支援



在札幌米国領事による読み聞かせ



石狩市民「あき味の会」による石狩鍋



日本アニメーション協会の活動



室井 滋さんによる読み聞かせ



「キラキラの会」のコーナー



ますこさんのコーナー



リサイクルブックコーナー

12月26日（月）

「どんぐり子ども図書室」完成

- ・「宮城県図書館」、「saveMLAK」による建設へ向けてのコーディネート
・「日本ユニセフ協会」、「東海大学チャレンジセンター3.11復興支援プロジェクト」、「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」等、多くの方々による支援



12月27日・28日

「組手什（クデジュウ）」書架の組み立て

- ・「登米森林組合」、「東海大学」学生の方々による支援



「組手什」3,413本を組み立て、44台の書架を設置

平成24年
1月4日・5日

資料や備品類の移動等の支援

- ・「宮城県図書館」、県内外「公共図書館関係者」の方々、「東海大学」学生の方々、
「宮城大学」教職員・学生の方々、「save MLAK」、「神奈川県のボランティア」の方々等



1月6日（金）

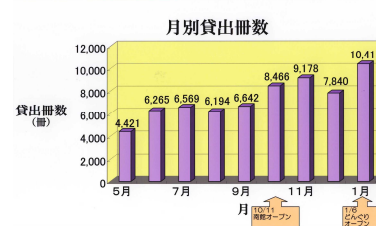
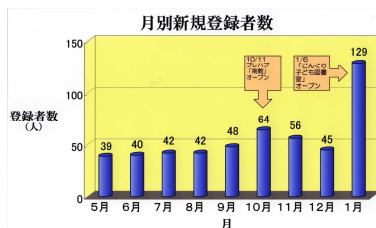
「どんぐり子ども図書室」オープニングセレモニー

- ・屋外で行っていた週1回のおはなし会も、温かな図書室で開催



2月

新規登録者、貸出冊数が増加



石狩市民図書館修理ボランティアによる本の修理の支援

- ・約3ヶ月かけて、石狩市民図書館内で約154冊の本を修復



3月

名取市図書館のこれまでの1年間の歩みを振り返る（3月8日（木）～31日（土）まで企画展開催）

